

まちづくり

街並みを保存する対策どのように 常夜灯付近にクロマツを植栽

行徳地区の街づくり

増田三郎議員(自由クラブ)

行徳地区の蔵造りの街並み保存に向けた市の対応策と、旧江戸川堤防の整備、常夜灯周辺の街路灯設置について問う。また、三番瀬の市民が親しめる水辺作りの現況及び、塩浜ヤード用地をどのように整備していくのか。

答 蔵造りの街並みでは、常夜灯付近のクロマツの植栽を進めていく。旧江戸川堤防の整備は、県に早急な対応を要望し、常夜灯付近の街路灯は、市が整備する方向で県と協議中である。また、三番瀬は地元の浚渫土砂で干潟の回復を進める。塩浜ヤード用地は、多目的使用の意向も聞いているので、適切に利用していく。



本八幡駅北口A地区市街地再開発の完成イメージ

医療・介護

介護保険

大川正博議員(公明党)

高齢化率が上昇する中、介護施設不足対策として、計画の前倒しを含む整備計画の考え方や、小規模多機能

介護施設不足対策は 計画を着実に推進する

型居宅介護の促進の見解を問う。また、老老介護の現状と、介護者の休息支援事業について、どのように考えるか。

東京ベイ・浦安市川医療センター

谷藤利子議員(日本共産党)

東京ベイ・浦安市川医療センターは、社団法人地域医療振興協会に経営を移譲し、浦安市、市川市、協会

市民の声 生かした病院運営を 地域に開かれた病院を目指す

とで基本協定を締結した。協定に運営連絡会を設置するとあるが、委員が医師会や自治会の代表者で構成され形骸化を危惧する。市民の声を病院機能に生かし、

市川駅南口地区再開発

フリディ長嶋議員(ガバナンス)

市川駅南口地区の再開発事業でビルは完成したが、既に撤退したテナントもあ

テナントの空き室対策は 地元のテナント会等と連携していく

くし、買い物客の安全対策としてビル風を無くさなければ、商業活性化は不可能と考える。市の対策を問う。答 市所有の区画は、公募等により売却を進めており、

本八幡駅北口市街地再開発事業

勝亦竜大議員(社民・市民)

本八幡駅北口A地区市街地再開発事業では、超高層の住宅棟が建設される。風害について懸念されるが、

風対策 市はどう対応するのか 風環境への配慮を組合に指導

法的規制はないという。周辺の風環境への配慮について、市の対応を問う。答 市としても風環境への配慮が必要と考え、市街地再開発組合に対策の検討を指導してきている。

行政

市民協働

松永鉄兵議員(緑風会)

今までは主に市民活動団体の育成に重点を置いてきたが、今後は協働を実践していく体制の構築が必要で

体制の構築は考えられないか 横断的に機能させていく

ある。団体の育成は担当部署を設置することで円滑に行われたが、協働の実践も一元化し、横断的に行う体制の構築は考えられないか。

総職員数

田中幸太郎議員(みらい)

市からの資料では正規職員数は平成11年度3986人から21年度3422人に減少している。しかし非常

事業数の減少に合わせ減らす努力を 人件費等の効率化を図った配置に

勤職員等を含めると5386人となる。事業数は11年度約1400から21年度873に減少している。歳出抑制のため、市民サービスが効率的に行えるよう協議を進めている。

自治会

秋本のり子議員(社民・市民)

地縁を基にする自治会は、高齢化、人材不足が進み、NPOやボランティア等、新しいコミュニティとしてマを持つ団体との融合を強

新しいコミュニティ政策を より柔軟な推進を図りたい

め、住民自治を進める新たなシステムが必要と思う。評価の高い地域福祉計画を評価させ、新基本計画に新コミュニティとして位置付けることについて考えている。

シティセールス

並木まき議員(民主クラブ)

他市では労働人口が減少傾向にある中、個性を出したシティセールスを行い、住民の獲得等に努めている。

住民獲得に向けた将来の戦略は 市民満足度を高める施策が必要

持続可能な都市となるためにも、都市ブランドを確立し、本市をよりアピールできる市とすることを期待するが、将来に向けて、どのような戦略をもって取り組むのか。

答 本市の存在感を高め、都市ブランドを確立するためには、知名度を高めるシティセールスと合わせ、住む人の満足度を高める施策が必要である。そのためには市民満足度が低い分野の改善が必要であり、住みよい街を実現できるような基本計画の策定を進めていく。